

綾部環状道路整備の効果検証等業務委託に関する仕様書

1. 件 名

綾部環状道路整備の効果検証等業務委託

2. 目 的

令和3年度から10年間を計画期間とする第6次綾部市総合計画において、四尾山南側地域（本市南部地域）のまちづくりを進めるため、一般府道広野綾部線、安場田野線、三俣綾部線と都市計画道路寺安場線を一体的に整備し、綾部市野田町から田野町、安場町、上延町などを経て府道福知山綾部線の鳥ヶ坪交差点までを繋ぐ綾部環状道路（「参考図面」参照）の実現に向けた取組についても記載をしているところである。

本道路の整備により、沿道での宅地開発や住宅立地の促進、あやべグンゼスクエアや「大本」への観光客の利便性向上、国道27号の代替機能確保による防災機能の強化、渋滞の緩和や近隣市町への移動時間の短縮による交通環境の改善など、その効果は多方面にわたるものと認識している。

本業務においては、本市のまちづくりに関する現状調査・分析による課題整理を行うとともに、森の京都の推進によるまちの賑わいづくり、新たな居住地域の誘導などの動向も踏まえつつ、将来的なエリアの発展可能性、綾部環状道路を含む道路ネットワークとしての市街地外周道路（環状型道路）の整備効果・必要性などの検討・検証を行うものである。

3. 業務期間

契約締結日の翌日から令和6年3月22日

4. 業務内容

(1) 本市のまちづくりにおける現状把握・分析及び課題の抽出

交通状況や都市活動等の既存データを活用し、本市のまちづくりや主要なプロジェクトの動向等も踏まえつつ、現状把握・分析や課題抽出・整理を行う。

(例) 綾部環状道路を含む市街地外周道路のルート及び周辺地域における概況、地理的・環境要件、人口推移、課題事項などの整理・分析

(2) 本市南部地域の交通インフラ整備に係る必要性の検討

上位計画及び既往の検討結果を基に、綾部環状道路の位置付けを整理するとともに、(1)で抽出したまちづくりの課題を踏まえ、綾部環状道路の整備によって改善が見込める事項や新たなまちづくりの可能性が広がる事項など、道路ネットワー

クとしての市街地外周道路の必要性を検討する。

(3) 本市南部地域の交通インフラ整備によるまちづくりへの効果の検証

① 道路整備効果の評価指標の設定

(2)において検討した必要性に関して、綾部環状道路整備の特徴的な効果を確認するための評価指標を設定する。

なお、評価指標は、可能な限り既存資料等により把握できる定量的データを用いて評価できるものとする。

(評価指標の例)

- ・ 住民生活への効果 (高次医療施設へのアクセスの向上等)
- ・ 地域経済への効果 (広域幹線道路とのアクセス向上による観光産業の活性化、物流の効率化等)
- ・ 災害対応への効果 (防災拠点への円滑な移動等)

※将来交通量推計を行わないため、直接効果指標である費用対便益 (B/C) は行わない。

② 道路整備効果の検討

①で設定した評価指標による整備効果の検討を行う。

③ 道路整備効果や必要性を高める提案等

将来的な本市のまちづくりについて、綾部環状道路をはじめ市街地外周道路等の整備効果や必要性を高める新たな提案、他市町の類似事例との比較や活用可能な事例 (まちの拠点機能整備と一体となった道路整備の事例など) の提示など

(4) 打合せ会議の実施、関係会議資料の作成支援

①業務進捗に応じた打合せ会議の実施

②庁内・庁外関係会議 (年数回開催) における資料作成の支援

(5) 報告書の作成

①業務報告書 2部

②業務に関連する電子データ (DVD-R等)